



特定非営利活動法人スマイルバトン

〒502-0813 岐阜県岐阜市福光東2丁目7-12 サンライズ北野2階
TEL:058-200-8792(受付時間:平日9:00~18:00)
MAIL:info@smilebaton.co.jp

ご寄付のご案内

1. Webサイトから寄付をする

右記Webサイトから寄付を受け付けています。
「CoE 寄付」でも検索可能です。

<https://gakugeinomori-coe.com/donation/>

CoE 寄付 検索



2. 銀行振込みで寄付をする

右記のフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/fLYSpXfF3o19o6v5>



今も未来も
スマイルであふれるように。
いい転機、つくろう。

ANNUAL REPORT
2024-2025



Smilebaton

NPO法人スマイルバトン

年次報告 2024年度
2024年10月25日~2025年3月31日



一人ひとりの声に寄り添う、 GOOD NEIGHBORでありたい。

こ

文部科学省の統計によると、全国で34万人を超える児童・生徒が不登校となっており、今後もその数は増え続けると予想されています。そのうち約7割の子どもたちが「自宅で過ごしている」という現状に、私たちは強い危機感を抱きました。

私自身、2人の子どもを育てる親として考えたときに、あの有り余るエネルギーをどうやって家の中だけで発散しているのだろう...と想像せずにはいられませんでした。子どもたちだけでなく、保護者の方々もまた、不安や苦しさ、生きづらさを抱えていることは容易に想像できます。だからこそ、この課題に向き合い、私たちのミッションとして取り組むことを決めました。

学校に行けない。自分を否定されてしまう。家庭にも地域にも頼ることができない。そんな状況に置かれた子どもたちにとって、学校や地域が安心して過ごすことのできる「居場所」ではなくなっている現実があります。

私たちは、どんな状況にある子どもでも、
「学びたいと願えば、安心して学べる」
「つながりたいと思えば、受け入れられる」
そんな学校や地域のあり方を、もう一度、社会の中に取り戻したいと願っています。

開校して1カ月。何人かの知り合いの先生たちが見学に来てくださり、皆さん口を揃えて「どうしたら、こんな場がつかれるんですか？」と聞いてくださいます。でも、正直なところ、特別なことは何もしていないと思っています。

私たちが大切にしているのは、何かが起きたときに個人に原因を求めず、環境や仕組みを見直すこと。そして私自身は、「GOOD NEIGHBOR(グッド・ネイバー)でありたい」と思いながら、子どもたちと向き合っています。

“先生”でも“家族”でもなく、ただ「隣にいる人」として。隣にいて、もし自分にできることがあれば力になりたい。できる形で寄り添いたい。そして自分も、隣にいる誰かに助けてもらえるような関係でありたい。そんな「共感」と「信頼」、そして「相互扶助」が、良いコミュニティを育てる鍵なのではないか。そんなことを考えながら、日々、学藝の森CoEを育んでいます。

ぜひ一度、学藝の森CoEにお越しいただけたらうれしく思います。
子どもたちと共に、お待ちしております。

代表理事 三原 菜央

CoEが取り組む課題と解決策

公立の学校に近い経済負担で通える 不登校児童・生徒のための オルタナティブスクールを岐阜から全国へ

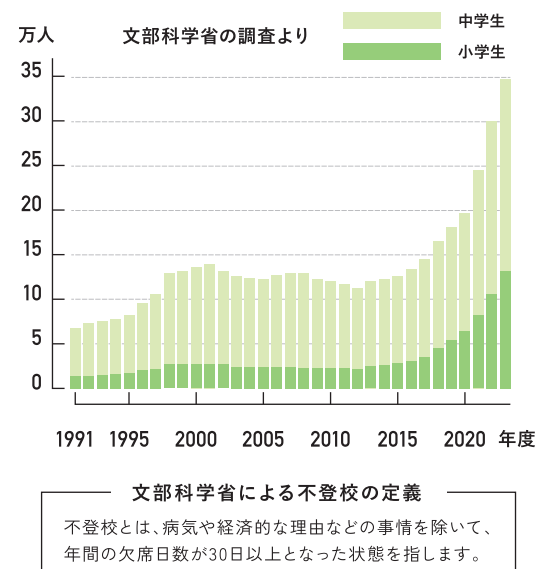
課題

不登校の児童・生徒の多くが「学びの場」を失い、
教育の機会が十分に保障されていない状況

社会課題の現状

文部科学省の統計によると、全国の小中学校で不登校の児童・生徒数が約34万人に上り、11年連続で増え続けており、過去最多となっています。岐阜県でも約5,800人、岐阜市で約1,100人の児童・生徒が不登校状態にあります。「隠れ不登校」「不登校傾向」の児童・生徒も年々増加していると言われています。

不登校の原因は、文部科学省の調査では、「学校生活に対してやる気が出ないなどの相談」が32.2%で最多、「不安・抑うつ」の相談」が23.1%と続いています。NPO法人多様な学びプロジェクトによる当事者への調査によると、「先生との関係」「勉強はわかるけど、授業が合わない」「学校システムの問題（価値観が古い、時代に合わない、風土に合わないなど）」の3つが原因の上位を占めています。



主な行政の選択肢

● 学びの多様な学校（不登校特例校）

学びの多様な学校は、不登校児童生徒の実態に配慮した特別な教育を行う学校のこと。2004年に国内で初めて開校したときは“不登校特例校”と呼ばれていたが、2023年8月から名称が変更。学校と同じように出席扱いになる教育機関で、設置は努力義務とされており、2024年1月時点で、学びの多様な学校は全国に32校ある。

● 教育支援センター（適応指導教室）

教育支援センターは、学校生活への復帰を目指しその支援をするために、学校以外の場所や学校内の空き教室等に設置されている。市町村の教育委員会が設置する場合がほとんど。

主な民間の選択肢

● フリースクール

一般に、不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などの活動を行っている民間の施設。全国に約500カ所。カリキュラムや授業があるところもあるが、公教育と異なる教育理念や教育方法を探り、学校への復帰にこだわらない団体もある。比較的少人数で、それぞれが自由に過ごしたり、子ども中心の活動や学習のサポートなどを行っている場合が多い。

● オンラインスクール

ICTを活用し、双方向の授業やオンライン教材を使用。自宅で学べるため、心理的負担が低く、個別指導や少人数制で、生徒のペースに合わせた学習が可能。社会とのつながりを維持するため、オンラインでの交流の機会も。

● オルタナティブスクール

独自の教育理念や教育法、カリキュラムにより運営されている民間の教育機関。

解決策

公立の学校に近い経済負担で通える
不登校児童・生徒のためのオルタナティブスクール
「学藝の森CoE（こえ）」

私たちの課題意識と思い

日本の初等教育は約98%が公立学校で、どうしてもその環境にフィットしないと、学びの選択肢が限られてしまうという大きな課題があります。また、アクセスできる学びの選択肢を見つけても、経済的な理由で断念する方が多いことも分かってきました。その結果、不登校児童・生徒の7割以上が主に自宅で過ごしています。

今ある選択肢の2つの課題

1. 経済負担の少ない行政の取り組み（学びの多様な学校など）は、数に限りがある
2. 行政以外の選択肢（フリースクールなど）は、受益者負担となり経済負担が大きい

私たちの大きな問い

公立学校に近い経済負担で、一時的に利用するもよし、ずっと過ごすことを選択しても、未来に不安を持たなくていいオルタナティブな場所をつくれなか



私たちは、自主事業の余剰利益や寄付金で運営する「公立学校に近い経済負担で通えるオルタナティブスクール」という、これまでにない新しい選択肢を2025年4月に岐阜市にて開校しました。

スクール名である「学藝の森CoE（こえ）」には、子どもたちの声、全ての人の声を大切にする場所という私たちの意思を込めています。

今後、岐阜校でのカリキュラム、ファンドレイジング、スタッフ育成のノウハウなどを全てオープンソースにし、自分の地域でも「学藝の森CoE」を立ち上げたいと願う人たちをサポートし、仲間を増やすことで、全国に「学藝の森CoE」を増やしていきます。



CoEの2024-2025

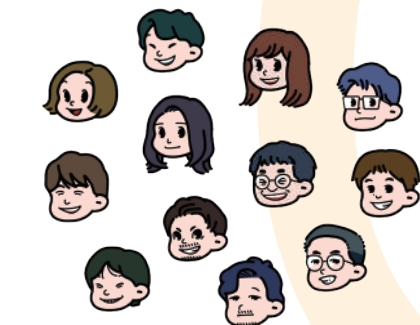
2024年
10月25日



NPO法人スマイルボタンを設立

2024年10月25日（私たちはこの日を「満点スマイルの日」と名付けました）、NPO法人スマイルボタンを設立しました。公立学校に近い経済的負担で通える、不登校の子どもたち向けのオルタナティブスクールという新たな選択肢を、全国に広げていくことが私たちの目標です。

この取り組みには、不登校という社会課題に思いを寄せ、実践を重ねる小中高の先生や、ビジネス分野での知見を持つ多様な理事・監事12名の皆さんと共に立ち上げました。



「学藝の森CoE」岐阜校の物件へ引っ越し

2025年4月に開校予定の「学藝の森CoE」第1号校の拠点が決まりました。新しい校舎は、落ち着いた雰囲気のある文教地区・岐阜市福光東にあり、周囲には公園も多く、学びにふさわしい穏やかな環境が広がっています。

限られた予算のなかで内装工事を進め、リサイクルショップをまわりながら必要な家具を一つひとつ揃え、子どもたちを迎える準備を整えていきました。

100平米あまりの小さな場所ですが、ここで始まる子どもたちとの新しい日々を想像すると、胸が高鳴ったあの気持ちは、今でも忘れられません。



2024年
12月3日

2025年
2月6日

「学藝の森CoE」開校のプレスリリース配信

岐阜校の開校と説明会のご案内を、プレスリリースとして発信しました。

その発信をきっかけに、岐阜新聞・中日新聞・朝日新聞・名古屋テレビ【メ〜テレ】の各社より取材を受け、多くの方にご関心をお寄せいただきました。

メディア掲載を通して説明会の情報を知ってくださった方も多く、反響の大きなリリースとなりました。



急遽、クラウドファンディングスタート

代表理事の三原がSNSで開校のお知らせを投稿したところ、多くの方にシェアしていただき、「寄付をしたい」との声が次々と寄せられました。

その反響を受け、急遽クラウドファンディングの実施を決定。

2月11日～3月10日の1カ月間にわたり挑戦し、ネクストゴールとして掲げていた250万円を達成。

最終的には226人の方から、合計2,593,800円のあたたかなご支援をいただきました。

2025年
2月11日



2025年
3月10日

16名の入学が決定

全5回の説明会には35組の申し込みがあり、当日は28組が参加。

説明会後には15組から面談の申し込みがありました。

入学には特別な条件を設けておらず、お申し込みいただいた16名すべての児童に入学通知を送付。

その後の辞退もなく、全員の入学が決まりました。



2025年
3月24日



CoEキッチン、誕生

「学藝の森CoE」が大切にしていることのひとつに、「食」があります。

子どもたちには、毎日、手作りのあたたかいお昼ごはんを届けたい。

そんな思いから、給食は調理して提供するスタイルにこだわっています。

しかし、借りた物件には小さなキッチンしかなく、それが唯一の悩みでした。

そんな中、アドバイザーであるローカルフードサイクリング社・代表の平さん率いるチームが、なんと福岡から岐阜まで駆けつけてくださり、半日でキッチンをイチからデザイン・設置していただきました。

機能性はもちろんのこと、あたたかさを感じられる、命が吹き込まれたような空間に。

たくさんの方々の力に支えられて、私たちは一歩ずつ前へと進んでいます。

2025年
4月7日

NPO設立から約5カ月。 「学藝の森CoE」ついに、開校！



設立からの5カ月間、限られた時間の中で悩むことも、立ち止まることもたくさんありました。

けれど、そのたびにまるで奇跡のような出来事が起き、誰かが手を差し伸べてくれました。

その積み重ねで、無事に開校の日を迎えることができました。

まだ始まったばかりですが、すでに心から「始めてよかった」と思っています。

「学藝の森CoE」の「藝」という字には、「植えて育てる」という意味があります。

時間を共にし、成長していくプロセスへの眼差しが、この一文字に込められています。

その名のとおり、この場所を、子どもたちと共に、丁寧に育てていきます。



CoEの風景



少人数×異年齢のあたたかな環境

「違い」を味わう環境の中で、「寛容さ」が育まれる

「学藝の森CoE」は、定員16名の少人数制スクールです。子どもたち一人ひとりにじっくり向き合うため、16名に対して2名以上のスタッフを配置し、丁寧にサポートします。さらに、異年齢の子どもたちが共に学ぶことで、自然と「教え合い、学び合う文化」が育まれるのも特徴のひとつ。年上の子が年下の子をサポートしたり、異なる視点を学び合うことで、多様な関わりの中で成長していきます。年齢にとらわれず、お互いを認め合いながら学び合う環境を大切にしています。

温かい手作りランチで「食」から支える

栄養士監修のスクール内調理。食の時間も学びのひとつ

「食」は学びと生活の基盤。毎日の食事は子どもの体と心の成長を支え、学びへの意欲や健康な生活、そして未来に向かう力を育むために欠かせないものです。「学藝の森CoE」では、栄養士が監修し、スクール内で手作りした温かいランチを提供します。旬の食材を活かし、バランスの取れた食事を通じて、「食べる楽しさ」「体を大切にする意識」も育んでいきます。また、家ではなかなか食が進まない子や、食の偏りが気になる子も、みんなで食卓を囲むことで、少しずつ食への意識が変わっていくことも。



学びの土台となる基礎学習もサポート

「できた!」「わかった!」という達成感を積み重ね、自信につなげる

入学後は、まず「自分の居場所」と感じられることを最優先にし、新しい環境に慣れ、友達やスタッフとの関係を築く時間を大切にします。その上で、学習指導要領に沿いながら、発達段階や教科ごとに必要な力を無理なく身につけられるよう、基礎学習をしっかりサポートします。さらに、「プロジェクトの学び」などの身体性を伴う体験型の学びを通じて、学びの幅を広げていくことも大切にしています。机の上だけでなく、実際の経験を通じて学ぶことで、より深い理解へとつながります。



保護者のCoE

こ

小学4年生の保護者

CoEに通う前は小学校にうまく通えず、平日の居場所はいつも家でした。日中家で過ごしていると何もやる気力がおきず、学校が終わる時間まで後ろめたさと寂しさ、ときには恐怖を紛らわすために寝る・玩具遊びなどで時間を過ごし、用意したお弁当には手を付けず、お菓子を食べて欲求を満たしていました。学校が終わる時間になり、家族が家に戻ってくると日中溜め込んだストレスを家族にぶつける。こんな日々でした。

CoEと出会い通うようになって、変化は2日目を感じました。まず、表情が明るくなったこと。家の中で家族にあたるのが明らかに減ってきたこと。そして何より本人の口から「CoEと出会えてよかった。やっと私の居場所が見つかった気がする」と言ってくれたこと。日々が充実することで人間こんなにも変わるのかと驚きました。

全てが解決したわけではありませんが、CoEと出会い、CoEに通うなかで、この子のペースでいろいろなことを学び、明るい未来を切り開いてくれることを願い、信じて、親子共々頑張っていこうと思います。

こ

小学2年生の保護者

朝は自分で起きて早めに登校するようになり、自主性が育ってきたように感じています。最初は緊張して中に入れなかったのですが、たくさん笑うようになり、自分から意見を言うようにもなりました。

スタッフのことを「先生」ではなくあだ名で呼んでいるのですが、皆さん包容力があり、子どもの声を肯定的に受けとめながら、ときには軌道修正をしてくれることもあります。だからこそ、遠慮せずになんでも話せるようで、安心して通えるスクールだと感じています。

こ

小学2年生の保護者

CoEは、どんどん広がってほしい場所です。我が子が日に日に生き生きとしてきて、不登校で家にこもっていた頃と比べると、家族からも「遅くなったね」と言われるようになりました。以前は自分の意見を知られるのを怖がっていたのに、今では自分から話しかけられるようになり、驚いています。

16人の子どもたちが通っていても、スタッフの方々が一人ひとりを丁寧に見てくれているのが伝わってくるため、子どもも安心して過ごせているようです。

OUR PARTNER

ご支援いただいた企業・団体のみなさまをご紹介します



西濃運輸株式会社 様



アノーションサポート株式会社 様



ジョグゴ株式会社 様



Sunday Morning Factory株式会社 様



ボーダレスハウス株式会社 様



株式会社愛幸 様



株式会社WOODYYLIFE 様



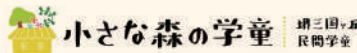
株式会社リトルパーク 様



ローカルフードサイクリング株式会社 様



株式会社ウェイビー 様



小さな森の学童株式会社 様



株式会社グローバルノード 様

DONATIONS

みなさまからいただいた寄付をご紹介します



さつき株式会社 様



敷島産業株式会社 様



たくさんの物品寄付を、
ありがとうございます！



さつき株式会社様から
電子黒板「ミライタッチ」を
ご提供いただきました



敷島産業株式会社様から
たくさんのお菓子のお菓子を
いただきました



そのほかにも、
個人の方から、食材や本、
教具などをいただきました

視察研修のご案内

「学藝の森CoE」での子どもたちの様子や、私たちの取り組みを直接ご覧いただき、教育の新しい可能性を感じいただける視察研修を定期開催しています。

申し込み方法

右のフォームより申し込みください。確認後、参加費のお支払い(銀行振込)についてご案内いたします。



見学会のご案内 (休日・長期休み限定開催)

平日の参加が難しい方にも、「学藝の森CoE」の空気感や取り組みを体感していただけるよう、休日や長期休みの特定日に最大15名の見学会を開催しています。

申し込み方法

右のフォームより申し込みください。確認後、参加費のお支払い(銀行振込)についてご案内いたします。



2024年度 財務会計報告

● 活動計算書 (2024年10月25日～2025年3月31日まで)

科目	金額(単位:円)		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	0		
2. 受取寄付金等			
受取寄付金	2,980,000		
3. 受取助成金等			
受取民間助成金	1,000,000		
4. 事業収益			
自主事業収益	0		
5. その他収益			
受取利息	27		
経常収益計			3,980,027
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	1,000,000		
法定福利費	171,256		
研修採用費	292,000		
業務委託費	548,500		
人件費計		2,011,756	
(2) その他経費			
広告宣伝費	84,840		
旅費交通費	6,240		
通信費	34,375		
会議費	10,800		
消耗品費	1,034,256		
租税公課	1,500		
支払手数料	147,950		
賃借料	55,500		
事務用品費	72,826		
支払保険料	28,960		
水道光熱費	11,657		
法人税等	3		
その他経費計		1,488,907	
事業費計			3,500,663
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費	0		
人件費計		0	
(2) その他経費			
賃借料	18,500		
水道光熱費	3,885		
その他経費計		22,385	
管理費計			22,385
経常費用計			3,523,048
当期経常増減額			456,979
III 経常外収益	0		
IV 経常外費用	0		
当期正味財産増減額			456,979
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			456,979